ありがとう

本校で育成すべき生徒の「資質・能力」
(1)勇気を持って、挑戦する力　＜強く＞
(2)主体的に判断し、より良く変容しようとする態度　＜正しく＞
(3)ふるさとを愛し、社会に貢献しようとする姿勢　＜役立つ＞

学校だより　第５号
令和元年　７月１８日発行
五島市立福江中学校
文責：校長・川端
☎７２－６４１６

盛り上がった親子レクレーション

先月下旬に実施された「心を見つめる教育週間」では最終日の29日を土曜授業として設定し、全学年一斉の道徳の公開授業と各学年の親子レクレーションを行いました。2003年、2004年と連続して起きた痛ましい事案を受けて設定されたこの教育週間では、命を見つめる道徳の授業と親子のふれあいがテーマです。今回初めて実施した各学年の「親子レク」では、それぞれが趣向を凝らし、生徒や保護者だけでなく学年の教職員も一緒に汗を流し笑顔で楽しんでいる様子が見られ、大きな収穫が得られたようです。先生方の中には「予想以上に盛り上がった」「来年はこんな企画をしよう」という意見もあり、新たな試みとしてこれからも「ふれあい」を重視した取組（催し）へ発展することを望みたいと思います。ご協力いただいた保護者の皆様に感謝します。ありがとうございました!!

「道徳」の公開授業

なお、「命」をテーマとした道徳授業でも、各学年が意図を明確にした授業を計画し実施しました。学年で同じ資料・指導案を使っての授業や担任独自の資料（自作資料も）での授業など、自分の誕生が如何に奇跡的であるのか、自他の生命の尊さを学ぶ良い機会となりました。

また、この期間中に実施された２年生の「職場体験」では、消防署や三井楽の自衛隊、介護施設、保育園、小学校等、多種多様の職場で３日間の実習を行いました。学校の授業では体験できないことやいろいろな大人の方々とのふれあいを通して貴重な体験となりました。関係者の皆様に改めて感謝いたします。

「乾杯」の歌声が全国に！

7月13日(土)の夜に全国放送された番組「音楽の日」の五元中継(生放送)に、本校の吹奏楽部が出演しました。全国5箇所を結び長渕剛さんと一緒に「乾杯」を歌う企画で、少し緊張した表情でしたが堂崎教会をバックに堂々と歌い上げました。出演依頼があってからの練習、県吹奏楽コンクール前の貴重な時間を割いての練習でしたが、誰もができない経験と思い出になったことでしょう。

番組を見た方々から私宛に「福江中の歌声が日本中に届きました。素敵でした。生徒の皆さんに格好良かったよと伝えてください」とのメールや掲載の写真(教会をバックに歌う吹奏楽部)が届きました。有り難いですね!! ちなみに、この日はいろいろな情報が流れて、「森山直太朗が福江中の生徒と歌うらしいけど？」や「福江中の体育館で長渕剛が歌うらしい！」など、困惑した情報もあり楽しい日となりました。

いよいよ「夏休み」がやってくる。子どもたちは楽しみだろうが、保護者にとっては昼食の準備や不規則な生活リズムへの不安等、楽しみにできない面もあるのかな？

子どもは特に「知的好奇心」旺盛だ。だからゲーム等にも興味を持ち自制心を失うほど没頭する。また、その好奇心をあおり利益を得ようとする産業・実利主義の大人社会があるのも事実。何とも未来が不安になる生きにくい世の中とも感じる。

しかし、家族の営みとして大切にしたいことがある。それは、毎朝の「おはよう」であり、就寝時の「お休みなさい」の言葉、そして、感謝の心を表す「ありがとう」。

夏休みが楽しみな生徒も、不安を抱いている保護者の方々も、長い夏休みの一日一日を大切にし、家族への思い遣りを表すこれらの言葉を大事にしてほしい。「ニューモラル」記事を以前にも紹介しましたが、今回も裏面に掲載しますので、一読していただければ幸甚です！